

令和7年度第1回清川村総合計画審議会会議録

1. 日 時 令和8年3月26日（木）午前9時30分から
 2. 場 所 役場庁舎3階 第2・3会議室
 3. 出席者 【委 員】
細野洋一、川瀬正行、細野 正、小室美和、守屋 力、
山口理恵、藤田愛乃、小林朱見
（欠席）高野 進、落合正広、藤谷健一、青木高人、山口恭子
【 村 】
岩澤政策推進課長、黄金井主任主事
 4. 内 容
 - 1 開 会
 - 2 委員紹介
 - 3 会長等選出
 - 4 議 題
 - ・第4次清川村総合計画前期基本計画 実施計画の令和6年度実績評価報告について
 - ・令和8年度清川村当初予算について
 - 5 その他
 - 6 閉 会
-

政策推進課長 1 開 会

2 委員紹介

※自己紹介

3 会長等選出

※委員の互選により会長に細野洋一委員、会長職務代理者に細野正委員が就任。

4 議 題

(会長あいさつ)

総合計画審議会の会長にご指名いただきましてありがとうございます。この審議会の総合計画という村の最上位計画に関する調査、あるいは重要な案件について審議していただくこととなります。本日、初めてご出席いただいている委員の方もいらっしゃると思いますが、各分野のリーダー的な存在にある皆様でございますので、積極的にご意見いただければと考えております。会議の円滑な進行にご協力をお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。

事務局 ・資料1により、第4次清川村総合計画前期基本計画 実施計画の令和6年度実績評価報告について、基本目標1～3の内容を説明。

A 委員 ヤマビル被害防除対策事業の具体的な内容については、ヤマビルファイターとジェットの販売でよろしいか。他にも何か具体的な事業があるのでしょうか。

事務局 この事業ではヤマビルの忌避剤と殺ヒル剤の販売のほか、登山道の入り口に忌避剤を据え置くなどの対応をしています。
実績評価ではヤマビル被害への対応の有効性をCとしていますとおおり対策の難しい課題ですが、それ以外にも鳥獣が生活区域に入ってこないようにすることと、そのためには山林を整備して住居地域としっかり区分けすることが重要と考えております。

A 委員 村での生活における実感として、ヤマビルが増えてると感じています。子どもが山に入って遊べる時期がないことはとても残念であり、今後、事業の有効性を上げる必要があると思います。
加えて、広域的にシカ柵を設置していますが、壊れているところもあり、柵を乗り越えて鹿が生活区域に入ってきている実態があると思います。

事務局 村では広域的な防護柵を設置し、継続して管理・修繕を行っていますが、山中の沢部などでは元々フェンスを設置していない部分もありますし、豪雨で大きく損壊している箇所も確認しています。

森林組合への委託による管理は継続してまいります。事業ヒアリングの中では、昔の農業の名残なのか、割と山あいには設置されている柵を手前に移設する有効性なども議論しております。

B 委員 有害鳥獣対策については議会でも近隣市町と議員連盟を構成して対応していますが、農業に従事している方々は大変ご苦労していると思います。農業を止める方が増えれば荒廃地を増やしてしまうわけであり、もう少し事業として強化してもよいのではと感じています。

B 委員 村内を走る路線バスについて、運転士不足などの課題をバス事業者も抱えています。相模原市内でも路線の廃止が相次いでいます。また、観光面においても、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団で宮ヶ瀬湖を周遊する交通手段の実験を行っていますがなかなかうまくいっていません。村では学生や高齢者を対象とした運賃補助を実施していますが、引き続き移動手段の確保対策にかかる対応をお願いしたいと考えています。

C 委員 路線バスの早朝・深夜便の運行は住民の生活にとっても役立っていると感じています。課題もあると思いますが、ぜひ継続していただきたいです。

事務局 岩澤村長も路線バスの維持は大切な事業の一つと考えており、令和8年度予算ではかなちゃんパスの購入費助成額の拡大についても議員の皆様にご理解いただいたところです。引き続き路線バスの維持対策に取り組んでまいります。

D 委員 災害用防災トイレについて、役場の駐車場に設置を進めているとのことですが、指定避難場所である小・中学校とのすみ分けはどうなっているのですか。また、駐車場に設置するとのことですが、今後の運用面について教えていただきたい。

事務局 昨年度整備した宮ヶ瀬地区では、宮ヶ瀬小中学校が指定避難場所となっていることから隣接する防災拠点用地に整備しましたし、煤

ヶ谷地区は緑小・中学校が指定避難場所にはなっていますが、生涯学習センターせせらぎ館が避難所になっていますし、行政面・観光面での中心地区となっていることから役場周辺に設置いたしました。今後、運用面の整理を行ってまいります。

A 委員 防災分野の成果指標に消防団員数の項目がありますが、現状はどのようなものなのか。団員が減少傾向にある中、女性消防団員の採用も必要なのではないでしょうか。

事務局 消防団員の定数については、厚木市北消防署清川分署の設置などをふまえ、今年度に130名から100名に改正しました。なお、成果指標にありますとおり、令和6年度においては78名となっています。また、女性消防団員については、消防活動ではありませんが避難所運営に女性は必須であるとの考えもございまして、令和8年度当初予算では女性の消防団員の方も含めた形で募集ができるよう予算措置を行ったところです。

A 委員 高齢者の移動手段の確保が必要であると感じています。自動車の運転免許証を返納した後の対策が重要であると考えます。路線バスの割引以外にも何か対策が必要ではないでしょうか。

事務局 運転免許証の自主返納者に対しては、令和8年度予算ではかなちゃんパスの購入費助成を2/3まで引き上げました。

また、週に2回ずつ上地区・下地区で運行しているふれあいセンターの送迎バスは継続してまいりますし、加えて、社会福祉協議会が実施している福祉有償運送事業は高齢者・障がい者の大切な移動手段として、買い物や通院の際に機能していると聞いております。

E 委員 村ではさまざまな交通確保対策を行っていただいておりますが、もちろん費用が発生するわけであり、利用する側も一定の我慢や理解が必要だと思います。

(休憩)

事務局 ・引き続き資料1により、第4次清川村総合計画前期基本計画 実施計画の令和6年度実績評価報告について、基本目標4～6の内容を説明。

D 委員 空き家対策も必要ですが、例えば村で暮らしている方が一軒家を建てたいと思っても適当な土地がないといった話をよく聞きます。せつかく若い世代の方が村を気に入ってくれたのに、村外へ転出してしまうのはとても残念ですし、何か対策ができればと感じています。

事務局 土地開発公社があったときには村内で積極的に宅地造成を行ってございましたし、村でも舟沢地区で宅地分譲事業を実施したこともあります。宅地の必要性は感じておりますので、どのような形で実施できるのか、引き続き検討していきたいと考えております。

A 委員 子育て世代を対象としたプレミール中根は魅力的な村営住宅だと思いますが、住宅情報はどのように周知しているのか。例えば住宅専門情報を扱うコンテンツに投稿するなどの対応はできないものなのでしょうか。

事務局 空き家情報は民間企業が運営する空き家バンクに掲載していただき、買い手と売り手の仲介をしています。プレミール中根などの村営住宅は村ホームページへの掲載に限られておりますが、周知方法について工夫してまいりたいと思います。

D 委員 東海大学の学生に取り組んでいただいている情報発信を活用したらよいのではないかと思います。

E 委員 村のホームページを閲覧の際、目的の情報までたどり着けないことが多いです。大切な情報は重複してよいから積極的に掲載してほしいと思います。また、他の市町ではホームページへのバナー掲載や封筒などへの広告掲載を行うことで収入を得ている事例があり、取り組む必要があるのではないのでしょうか。

事務局 令和8年度当初予算で村ホームページのリニューアルにかかる予算を計上しています。AIを活用した検索機能など、アクセシビリティを向上したいと考えております。

F委員 村のDX事業の取組状況はどのようなものでしょうか。本日の資料も紙媒体のものが多く、日々の生活においてもあまり実感がないところです。

事務局 デジタル機器の導入事例としては、本日も活用していますAIを活用した議事録作成機器などは職員の事務効率化に役立っておりますが、国が目指すデジタルトランスフォーメーションはなかなか進んでおらず、議会でもご質問をいただいております。

令和8年度では新しい事業としてIT企業から専門人材の派遣を受けることで、村のデジタルトランスフォーメーションを進めてまいりたいと考えております。

C委員 先日、ニホンオオカミにかかる頭骨などのレプリカや復元画のお披露目、また講演会が開催されましたが、非常に反響が大きいと感じており、ぜひ村のPRや活性化に役立ててもらいたいです。

A委員 子育て施策に重点を置く必要がある中で、子どもたちが遊べる場所づくりが大切だと考えています。公園の整備や児童館など、夏休みに子どもたちが遊べる場所の確保が何らかの形で実現できればと思います。

事務局 子どもの居場所づくりについて、公園などのハード整備は総合計画に位置付けておりませんが、既存施設や現行事業を調整しながら、引き続き取り組んでまいります。

事務局 ・資料2により、令和8年度清川村当初予算の概要を説明。

E委員 毎年6月に開催されています産業まつりですが、農協主催の農業まつりと集約して実施すると聞いています。産業まつりは村の基幹産業である新茶のまつりとして開始された経緯もあり、ぜひ継続し

ていただきたいと考えています。

村内でも茶の生産者が減少したことで、山北町の足柄茶茶業センターでは茶葉が十分に確保できない状況となっています。地域おこし協力隊の登用など、村の遊休農地を活性化するための取り組みを進めていただきたいと考えています。

E 委員 全体的な意見となりますが、本日の議論は当初予算が決定される前に実施できればと思います。本日ご説明していただいた令和6年度の事業実績を受けて、委員の意見を当初予算に反映していただくとよいのではないのでしょうか。

事務局 委員の言及のとおりであり、ご意見をふまえて、今後、本審議会の開催時期を決定してまいります。

5 その他

事務局 ・参考資料1により、第4次清川村総合計画前期基本計画 令和7年度実施計画の内容を説明。
※併せて、令和8年度実施計画は取りまとめが終わり次第、審議会の委員の皆様にお示しすることをお伝えしました。

政策推進課長 6 閉 会